

様式1(主な取組)

活動指標名	緑化活動団体の育成件数(企業等の緑化活動支援等)				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	10件	10件	10件	10件	10件	10件	100.0%	0	順調	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援(苗木の育成方法等)を行った。また、優良花木の増殖技術の普及を行った。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、講習会の開催を増やすことでインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。 						<ul style="list-style-type: none"> 北部、中部、南部、宮古、八重山において緑化の講習会を開催したほか、インターネットを通じて緑化活動に関する技術書を県民に提供した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 緑化を推進するための部局横断的な取組が十分でない。

○外部環境の変化

- ・ 緑化活動団体から緑化技術等の支援が求められている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 緑化活動団体へ緑化技術等の情報提供等を行う。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、引き続き講習会を開催することによりインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成	施策	① 県民一体となった全島緑化の推進
			施策の小項目名	—
主な取組	全島みどりと花いっぱい運動事業			
対応する主な課題	①森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
緑化事業を県民一体となって推進するため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」の開催や、企業等と協働で積極的に緑化活動を実施して、緑化活動を普及啓発し、民間への浸透を図る。						
実施主体	県、市町村等					
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【098-866-2064】		行政、団体、企業等による緑化活動の支援		

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 全島緑・花・香いっぱい運動事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	5,961	4,932	8,517	9,368	12,303	8,247	県単等	OR元年度： 全島緑化県民運動推進会議の開催。農林高校で生産した苗を学校や地域へ配布する花のゆりかご事業を実施。CO2吸収量認証制度で4件を認証。 OR2年度： 全島緑化県民運動推進会議の開催。花のゆりかご事業、地域環境保全推進事業、企業との協働による名所づくり、CO2吸収量認証制度の周知及び実施。
予算事業名 —							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
		—	—	—	—	—	—		OR元年度： — OR2年度： —

様式1(主な取組)

活動指標名	行政、団体、企業等による緑化活動の支援				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	80	84	85	94	114	—	100.0%	12,303	順調	<p>「『一島一森』で花と緑の美ら島づくり」をスローガンに全島緑化県民運動の普及啓発及び県土緑化への積極的な参加を推進した。県民主体の継続的な緑化活動を支援するため、各種緑化活動を支援した。</p>
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名	—				R元年度					<p>「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、県の緑化事業を総合的・横断的に推進するとともに、花のゆりかご事業等で、学校・地域住民等が行う緑化活動を支援することにより、県民主体による緑化活動が各地で実施された。全島緑・花・香いっぱい運動(114件)も前年度より増加するなど、順調に取り組むことができた。</p>
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<p>・緑化活動は長期的な取組みを実施する必要があるため、引き続き、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、県庁内部において緑化活動に対する認識を深め、横断的な取組につながるよう努めていく。さらに、企業、学校、地域住民が行う緑化活動への支援を行い、緑化活動への普及啓発により緑化に対する関心を高めていく。また、CO2吸収量認証制度の運用により、企業等による緑化活動の更なる参加を促していく。</p>						<p>・「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催するとともに、県庁内部において、緑化活動に対する認識を深め、緑化行政を横断的に実施するため、緑化マトリックス会議を実施した。企業、学校、地域住民の緑化活動を継続的に支援し、緑化活動の普及啓発を図った。企業等による緑化活動の推進拡大を目指し実施している沖縄県CO2吸収量認証制度により、4事業者に対して、CO2吸収量の認証を行った。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・緑化を推進するための部局横断的な取組が十分でない。

○外部環境の変化

- ・開発や都市化の進展に伴い、都市周辺や郊外において、緑化活動に供することができる場所を探すことが難しくなっている。
- ・企業との協働による花の名所づくりにおいて、緑化活動に積極的に取り組む企業等が少ない。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・更なる緑化の推進を目指し、行政主導型から民間主導型の緑化活動への転換を図るため、県民に緑化の意義及び大切さの理解を広めるとともに、住民参加による緑化を推進し、経済効果や地域振興へ繋がる取組を検討・推進し、緑化活動の気運を高めていく。

4 取組の改善案 (Action)

- ・長期的な取組を実施する必要があるため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を継続して開催し、県民一体となった緑化活動に取り組み、県庁内部においては、緑化活動に対する認識を深め、横断的な取組につながるよう努めていく。企業、学校、地域住民が行う緑化活動に支援を行い、緑化の意義や大切さの理解を広め、関心を高めていく。また、CO2吸収量認証制度の運用等を通して、企業の緑化活動を広くアピールし、更なる参加を促していく。

様式1(主な取組)

活動指標名	植樹祭・緑化コンクールの開催				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		植樹祭・緑化コンクールの開催	植樹祭・緑化コンクールの開催	植樹祭・緑化コンクールの開催	植樹祭・緑化コンクールの開催	植樹祭・緑化コンクールの開催	植樹祭・緑化コンクールの開催	100.0%	14,313	順調
活動指標名					R元年度					
実績値								<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>豊見城市において、地元住民等が参加した植樹祭を開催した。他に、緑化の各種コンクール、緑の少年団の育成・指導を行い、順調に取組を推進した。</p> <p>地域、教育現場に対して緑化の普及啓発がなされ、県民の緑化への関心が醸成された。</p>		
活動指標名					R元年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案								反映状況		
<p>・緑化のイベントについては、教育機関や関係機関と連携し、事前の広報の強化を図り、児童・生徒の参加増大を図る。全国育樹祭における緑の少年団が果たす役割が大きいことから、各種緑化のイベントは、全国育樹祭のプレイベントとして位置づけるとともに、緑の少年団の取り組み紹介や新規団の結成などを呼びかけるなど積極的に行うとともに、緑の少年団の体験交流学習会への参加数の増大を図る。</p>								<p>・県植樹祭については、教育機関への文書周知を行うとともに、ラジオなどメディアを通じて事前広報を図り、若い世代に対して広く広報することができた。</p> <p>また、緑の少年団による取り組みの紹介については、全国育樹祭推進室と連携し、緑の少年団の体験学習交流会と併せて少年団による育樹活動を実施し、新聞記事に掲載するなど県民へ活動を紹介することができた。</p> <p>さらに全国育樹祭並びにそのプレイベントについては、緑の少年団が様々な役割を担い、大会を盛り上げることができた。</p>		



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・県土緑化の重要性を普及啓発するための重要なイベントであることから、今後も継続して開催していくために、次代を担う児童・生徒が積極的に参加するよう教育機関と連携した情報発信を図る。

○外部環境の変化

・令和元年度に全国育樹祭が開催され、緑化に対する機運が高まっており、引き続き、植樹祭や緑の少年団の育成指導などを行うことにより、県民へ緑化の重要性を普及啓発することにつながる。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・時代を担う児童・生徒が積極的に緑化のイベント等に参加するように事前の広報を強化する必要がある。令和元年度に全国育樹祭が開催され、全国育樹祭の式典においては緑の少年団が様々な役割を担うことにより大会を盛り上げた。今後は、全国育樹祭を契機に、緑の少年団について県民への周知を図るとともに、多くの緑の少年団員が学ぶ機会を得られるよう緑の少年団体験学習交流会を引き続き実施する。

4 取組の改善案 (Action)

・全国育樹祭を契機として、緑の少年団の取り組み紹介や新規団の結成などを積極的に支援するとともに、緑の少年団の体験交流学習会を引き続き実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	緑化活動団体の育成件数(企業等の緑化活動支援等)				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	10件	10件	10件	10件	10件	10件	100.0%	0	順調	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援(苗木の育成方法等)を行った。また、優良花木の増殖技術の普及を行った。
活動指標名					R元年度					
実績値										
活動指標名					R元年度					
実績値										
活動指標名					R元年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、講習会の開催を増やすことでインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。 						<ul style="list-style-type: none"> 北部、中部、南部、宮古、八重山において緑化の講習会を開催したほか、インターネットを通じて緑化活動に関する技術書を県民に提供した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 緑化を推進するための部局横断的な取組が十分でない。

○外部環境の変化

- ・ 緑化活動団体から緑化技術等の支援が求められている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 緑化活動団体へ緑化技術等の情報提供等を行う。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、引き続き講習会を開催することによりインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。

様式1(主な取組)

活動指標名	平和創造の森公園の施設整備、維持管理、利用促進				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	公園施設の修繕	公園施設の修繕	—	100.0%	1,913	順調	公園施設において遊具の老朽化・劣化が見られるため、取り替えを行った。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<p>・老朽化・劣化が見られる施設の維持・修繕を行う。ベンチ、遊具の修繕更新を予定している。</p>						<p>・公園遊具施設の修繕により園内の安全が確保された。また、ベンチの更新も行った。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ 平和創造の森公園は供用開始してから20年以上が経ち、施設の随所に老朽化・劣化が見られる。

○外部環境の変化

・ R1年12月に全国育樹祭が開催されたことから、お手植え木をはじめ、公園の利用頻度が増えることが予想される。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 公園利用者に安心して快適に過ごせるよう、引き続き、老朽化・劣化が見られる施設の維持・修繕を行うことが必要である。

4 取組の改善案 (Action)

・ 老朽化・劣化が見られる施設の維持・修繕を行う。また、乗用芝刈り機の更新を行う。